令和3年リフト事故集計表

機工協・技術サービス部会調査

番号	事故発生状況	事故発生場所					発生時間			リフトの種類						生産区分		事故区分		人身事故状況			物損内容			事故の推定原因					事故後の処置				設置年月	使用年数（概算）	保守契約	
		ディーラー	専業者	ガソリンスタンド	用品店	その他	午前	午後	時間外・不明	二柱	四柱	リンク	埋設	ツインリフト	その他	国産品	輸入品	人身事故	物損事故	負傷1月以内	負傷1月以上	死亡	乗用車	トラック	その他	リフト不良	設置不良	取扱不良	点検不履行	その他	取扱方法等の説明	入替え	修理	その他			有	無
1	ツインリフトの移動側を縮める方向に作動させた際、スライドカバーの接続が外れて最後部のスライドカバーが移動せず、ピットに開口部ができていたが、作業員はそれに気づかずに片足を踏み外して負傷した。 原因はスライドカバーが反り曲がっていたためと考えられる。 対策として当該カバーの接続が外れてもワイヤー及びチェーン等で開口しないように調整した。	○						○						○		○		○		○									○				○		不明			○
2	ドライブオンリフトを下降させた際、ジャッキングビームがスライドレールから外れ、約1.6mの高さから作業員の足に落下した。 原因はビームの収納位置が適切でない状態で下降させたことにより、外れ止めプレートが変形したためと考えられる。対策として外れ止めプレートを修理するとともに他店舗の同型機種の点検を実施した。	○					○						○			○		○		○								○					○		H13.1	20年	○	
3	大型車用3柱式リフトでリフトアップしていた車両をさらに上昇させるため、作業員が前方と後方のシリンダを上昇させようとしたところ、間違って前方と中央のシリンダを上昇させたため車両が落下した。 原因は作業員の取扱不良と考えられる。 対策として正しい取扱方法を再度説明した。		○						○					○		○			○					○				○			○					不明			○
4	ツインリフトでリフトアップしていたユニック車を下降させた際、車両のフロント部分が左側へ落下し、左横ストールの二柱リフトに接触した。 原因は車両に装備されたユニックを規定の格納位置に戻していなかったこととユニックの偏荷重を考慮してリフトアップしなかったためと考えられる。 対策として偏荷重等を考慮し、正しく使用するよう説明した。	○							○					○		○			○					○				○			○					H18.1	15年		○
5	トラックをツインリフトでリフトアップし、作業員が所用により現場を一旦離れて戻ったところ、車両が傾いた状態になっていた。 原因は偏荷重と受台溶接部の強度不足により後軸の受台溶接部が剥離したためと考えられる。 対策として受台を交換するとともに車両をリフトアップする際は偏荷重に注意するよう説明した。	○					○							○		○			○					○		○		○			○		○			R1.8	1年		○
6	移動式簡易リフトで大型車をリフトアップし、ホーシングの4ヶ所に角パイプを支えとして敷き込み、その後、移動式簡易リフトを下降させて車両の下廻りを整備していたところ、ホーシングが角パイプから滑り落ちて作業員が車両に挟まれた。 原因は移動式簡易リフトを下げた状態であったことと角パイプで車両を支えていたためと考えられる。 対策として正しい取扱方法を説明した。		○				○								○	○		○	○			○		○				○			○					R2.2	0年		○

令和3年リフト事故集計表

機工協・技術サービス部会調査

番号	事故発生状況	事故発生場所					発生時間			リフトの種類						生産区分		事故区分		人身事故状況			物損内容			事故の推定原因					事故後の処置				設置年月	使用年数（概算）	保守契約	
		ディーラー	専業者	ガソリンスタンド	用品店	その他	午前	午後	時間外・不明	二柱	四柱	リンク	埋設	ツインリフト	その他	国産品	輸入品	人身事故	物損事故	負傷1月以内	負傷1月以上	死亡	乗用車	トラック	その他	リフト不良	設置不良	取扱不良	点検不履行	その他	取扱方法等の説明	入替え	修理	その他			有	無
7	車両をリフトアップしたところ油圧ホースが破裂した。また、安全ロック装置が故障していたためリフトが車両を載せた状態で急降下した。 原因は点検不履行と故障箇所の未修理があったためと考えられる。 対策として修理等を実施するとともに正しい取扱方法や日常点検の方法について説明した。	○						○					○			○													○		○		○		H4.1	29年		○
8	リフト使用中、フラットキットが作動しなかったため作業員が強制的に上昇させようとしたところ、フラットキットが急上昇して作業員の手が挟まれ指を切断した。 原因はフラットキットが破損した状態で使用していたためと考えられる。 対策としてリフトの点検と正しい取扱方法について説明した。	○							○				○			○		○			○								○		○			○	不明			○
小　　計		6	2	0	0	0	3	2	3	0	0	0	3	4	1	8	0	4	4	2	1	1	0	4	0	1	0	5	3	0	6	0	4	1			1	7
合　　計		8					8			8						8		8		4			4			9					11						8	

令和3年整備機器(リフト以外)事故集計表

機工協・技術サービス部会調査

番号	機器名	事故発生状況	事故の発生場所					発生時間			生産区分		事故区分		人身事故状況			物損内訳			事故の推定原因					事故後の処置				設置年月	使用年数（概算）	保守点検	
			ディーラー	専業者	ガソリンスタンド	用品店	その他	午前	午後	時間外・不明	国産品	輸入品	人身事故	物損事故	負傷1月以内	負傷1月以上	死亡	乗用車	トラック	その他	機器の不良	設置不良	取扱不良	点検不履行	その他	取扱方法等の説明	入れ替え	修理	その他			有	無
1	門型洗車機	洗車中、トップブラシがリヤスポイラーに接触してヒビが入った。 原因は作業員が車両の装備品を正しく選択せずに洗車を開始したためと考えられる。 対策として正しい取扱方法を再説明した。	○							○	○			○				○					○			○				H28.3	5年		○
2		洗車を実施したところ、ノズルがリアスポイラーに接触し破損させた。 原因は作業員が車両の装備品を正しく選択せずに洗車を開始したためと考えられる。 対策として正しい取扱方法について再説明した。	○							○	○			○				○					○			○				不明			○
3	スキャンツール	車両にコネクタを接続した状態で車内にスキャンツールを置いていたところ、スキャンツール本体より出火して内装の一部を燃焼させた。 原因はリチウムイオン電池が異常発熱したことにより出火したためと考えられる。		○					○		○			○				○			○						○			R2.11	1年		○
4	フロンガス充填装置	フロンガスの充填作業を自動運転にて実施していたところ、充填装置の下部より発火し、車両2台、ホースリール、壁などを焼損させた。 原因は充填装置内に漏れこぼれたオイルが真空ポンプにより加熱されて発火したと考えられる。 対策として定期的に点検するよう説明した。	○						○		○			○				○					○			○				R1.11	2年		○
5	油圧ジャッキ	油圧ジャッキ（ダルマジャッキ）で部品を支持して下回り整備をしていたところ、ジャッキが転倒し、部品が落下して作業員が足を骨折した。 原因は油圧ジャッキを設置する場所や支持する部品のバランスが不安定な状態で使用したためと考えられる。 対策として当該ジャッキの使用を中止するよう提案した。	○							○	○		○			○							○			○				不明			○
6	ブレーキ・テスタ	チェーンに給脂していたところ、作業員が指を巻き込まれて指先を切断した。原因はモーター電源を入れ、ローラを回転させた状態で給脂したためと考えられる。対策として点検する際はローラを停止させた状態で実施するよう説明した。	○						○		○		○			○							○			○				H15.8	18年		○
7	エアインフレーター	タイヤにエア充填を行っていたところ、タイヤが破裂し、付近で作業を行っていた作業員が負傷した。 原因は安全囲いを使用せずに作業を行っていたこととタイヤに損傷があったためと考えられる。 対策として作業する際は安全囲いを必ず使用し、周辺の安全を確認してから作業を行うよう説明した。		○						○	○		○		○								○			○				不明			○
小　計			5	2	0	0	0	0	3	4	7	0	3	4	1	2	0	4	0	0	1	0	6	0	0	6	1	0	0			0	7
総　計			7					7			7		7		3			4			7					7						7	